

市民との意見交換会・報告書

開催地区：大戸地区	開催日時：令和4年11月9日（水） 18時30分 ～ 20時00分
担当班：第1班（出席議員） 譲矢 隆、石田典男、原田俊広、吉田恵三、内海 基	
開催場所：大戸公民館	
参加人数：男性11名、女性 0名、合計11名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 意見交換の総括	
(1) 議会報告、市政全般についての総括	
① 大戸地区のまちづくりに向けた課題について	
大戸地区においては、まちづくり委員会が設立され、地域の活性化に向けて活動していることから、定員を超える住民に参集いただき、活発な意見交換となった。	
その中で、人口の減少や独身者の増加、高齢化の進行に伴う将来へ向けた地区の存続や文化継承への不安や、除雪への対応、道路の舗装化、自主防災組織の設立などの意見が出され、今後の地区の活性化に向けた取組について考える会となったところである。	

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
議会報告のあった中で、道路整備の未対応について伺う。当地区においても毎年、道路整備の要望書を出しているが、毎年同じ要望内容でも効果があるのか。	令和3年度においては、未対応道路のうち、整備箇所が少し進んだものの、従前の道路整備要望箇所があり、令和3年度以降の新たな道路整備要望を加えると、未整備箇所は増えている。しかしながら同じ内容であっても要望書は継続して提出した方が良いと考える。地区内などで真に必要な整備箇所かどうか精査はしてほしいと考えるが、要望を継続してはいかがか。	○	①		道路
道路整備要望書に対する回答はしていただけるのか。	市は、各地区等からの要望書に対する回答を行っている。市は今後の大戸地区の道路整備はどうなるのか精査する必要があり、その内容をデジタル化する必要もあると考えている。	○	①		道路
香塩地区であるが、市道大3-19号線については、途中まで舗装されているが、残りの一部が未舗装となっている。市から未舗装の部分は除雪できないと言われており、高齢者夫婦の世帯では、除雪が困難であり、地区の個人が除雪機械で除雪できたとしても、こうした箇所は緊急性が高く、舗装整備と除雪が必要ではないか。（図面を提示）市の方で現地を確認してる。210mほどある。	（図面を拝見して）この箇所の考え方について後日回答する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 （事後処理報告書P6に記載）	道路

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
未対応の道路整備箇所のうち、緊急性が高い、とはどういう基準となっているのか。昭和時代の道路整備に関する要望の取り扱いは、どうなっているのか。	要望のうち、昭和時代のものであっても未対応のものは、全て要望として取り扱っている。市役所において優先順位の基準があり、利用者が多い箇所などは優先順位が高いが、市議会建設委員会においては、その基準だけをもって優先順位が高くなることのないよう、生活道路としての利用実態など市民要望に寄り添いながら精査するよう、意見している。なお、基準の内容については、後日回答する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P7に記載)	道路
本年6月から、自主防災組織を設立すべく、各地区において委員会を発足させ、7月以降、各地区から消防団や民生委員等に出席いただきながらワークショップなどを開催している。今後設立総会を開催するため意見交換をしている最中であるが、新型コロナウイルス感染症禍にあるため、議論できるために知恵を絞り、工夫を重ねている。市からの支援策として各地区割りとして上限が5万円。加えて世帯割が500円×世帯数となっており、こちらも上限5万円で最大で10万円補助される。今後地区の役員は更に多忙となり、役員手当の引上げも必要であると考えるが、なぜこの支援制度は初回のみ、設立時のみであるのか。地区の財政に不安がある。年度ごとに補助金が必要ではないのか。	市においては自然災害等の被害が続いている。自主防災組織については、現在10カ所程度設立されているが、今後市内全域での設立を目指す計画はある。しかしながらマンパワー不足や、設立するためのノウハウがわからないなどの課題がある。市議会においても設立促進のため、現在1人しかいない防災対策普及員の増員や財源確保などを要望している。茨城県常総市では市内全域100%で設立されている。危険区域への設立を優先させるべきという意見もあるが、助成制度が単年度で良いのかどうか課題と受け止める。	○	①		防災・安全
世帯数が少ない地区への自主防災組織の設立は、人的配置できないなど現実的ではない。区長は先頭に立つ必要がある。このままでは区長のなり手がなくなる。市内各所に自主防災組織が出来てくれば乗効果がでてくる。	ご意見のとおりであると考える。	○	②		防災・安全

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
補助金の使途についても考えないといけない。芦ノ牧地区においては、防火水槽修理や、大戸チャンネルを見るためのテレビを購入したが、補助対象外である。電柱が2本倒れ、修理したが6万円しか助成されなかった。補助制度についても見直さなければ、いけないのではないかと。	公共的なものは、市が担うべきと考えられる。今般の市長との対話集会で、湊地区のサイレンの件のお話が出されたが、市で設置したものではないため、市では改修できないという答弁であった。防火水槽も同様であり、県所管であっても堤防の改修が必要な地区がある。文教厚生委員会の中でも議論していく	○	①		防災・安全
石村地区においては、高齢化が進行し、独身者が多い。子どもたちがいない。結婚相談などに関する市の施策が見えてこない。実態はどうか。おっせかいな方々が増えてほしい。移住に関する事業があり、市外から市内への移住も大切であるが、当地区においては独身者のみ多くなれば将来が不安である。	市においてもこれまでに取り組んできた施策はあるものの、不十分であると考えている。	○	①		行政
人口が減少し、若い方がいなければ、お祭りの継承もできない。具体的な対策が必要ではないか。北海道東川町は人口が1,400人増加している。国立公園のど真ん中にある町であるが、写真甲子園などを開催し移住者も多い。只見町の取組も参考になるのではないかと。在郷の写真家星氏は、世界に向けて只見線や奥会津の魅力を発信している。只見町の再発見にもつながっている良い事例である。そうした取組が只見線の再開通につながったのではないかと。市議会も、大戸地区の活性化策を考えてほしい。	お祭りなど地域の伝承されてきたお祭りなどが廃れていくのは、民俗学的にみてもつらいものである。市議会としても議論を深めていく。	○	①		まちづくり

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
大戸地区における小規模特任校は、地域に学校を存続させていくためにも重要な取組である。しかしながら、地区外から通学する児童・生徒は通学費が増大する。個人に対してバスの定期代等の補助はできないとされているが、支援する方法があるはずである。まちづくり委員会を通じて補助するなど、他の支援方法はないのか。	遠くから通学することを前提として、了承した児童・生徒が通学するため通学費に対する支援は無いところである。文教厚生委員会においては、通学に関しても地域公共交通等が利用できないのか議論しており、9月定例会議において要望的意見を提出している。地域の実情に応じた通学支援を検討することが重要であると考えている。	○	①		学校教育
小規模特任校においては、先生からの支援や先生の人数を確保することが重要ではないのか。	そのとおりであると考えている。	○	②		学校教育
香塩地区においては人口減少に伴い空き家が20軒ほどあり、1人暮らしも12軒ある。80才以上の高齢者は38名おり、除雪が大変であり、香塩地区での対応は限界である。上雨屋地区や下雨屋地区を通る国道は交通量が多い。市では296台の除雪機を所有しており、門田町面川の家のないところでも除雪しているが、人が住んでいるところもしっかりと対応してほしい。歩道も歩けない。県にお願いしてもらいがあかないところもある。市ではハンドロータリーの貸出は行っているのか。そうした仕組みが必要ではないのか。	国道のうち、三桁国道は県の所管であり、国道49号線は国の所管である。大戸地区の国道車道部、歩道部の市への除雪委託は、ほんの一部であり、建設委員会においても、まだ詳細な研究には至っていないので、今後の課題であると考えている。 ハンドロータリーの貸出は行っていないが、除雪対策協力会が地区単位でハンドロータリーを歩道を含めた市道を除雪する目的として購入する場合の補助制度がある。市議会においても地区のそうした現状を踏まえ、建設委員会において調査研究を重ねていく。	○	①		雪害対策
市職員の公金詐取の件であるが、チェック体制はどうなっていたのか。当該元職員が異動するまで分からなかったのか。	本日市議会に対しても説明があった。チェック体制の不備についての説明も受けたところであり、元職員の異動により後任者が気付いたようである。大変遺憾な事件であり、市議会においても今後こうした事件が発生しないよう議論していく。	○	①		行政

市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 市道大3-19号線の舗装要望について (P2)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 香塩地区であるが、市道大3-19号線については、途中まで舗装されているが、残りの一部が未舗装となっている。市から未舗装の部分は除雪できないと言われており、高齢者夫婦の世帯では、除雪が困難であり、地区の個人が除雪機械で除雪できたとしても、こうした箇所は緊急性が高く、舗装整備と除雪が必要ではないか。</p> <p>【事後処理結果】 道路課から以下の回答を得た。 市道大3-19号線の現地を確認したところ、敷砂利部分も市道となっているものの、敷砂利が均平に施されていることから、地元の方々のご協力のもと良好に維持管理されているものと思われます。 要望箇所は、地区の方々が利用する生活道路であり、舗装をすることにより道路利用者の利便性の向上や維持管理の軽減が図られると考えられますが、市内の多くの町内から同様の要望が数多く寄せられているため、各々の要望箇所を調査し、道路の利用状況や緊急性などを考慮しながら、整備を実施してまいりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>(担当課：道路課11月16日回答)</p>	

市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>2. 道路整備箇所の整備基準について (P 3)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 未対応の道路整備箇所のうち、緊急性が高い、とはどういう基準となっているのか。昭和時代の道路整備に関する要望の取り扱いは、どうなっているのか。</p> <p>【事後処理結果】 道路課から以下の回答を得た。</p> <p>○市道舗装整備事業における路線の評価基準項目は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅員(道路の幅員により評価) ・家屋連担度(隣接する家屋数により評価) ・利用度(歩行系か車両系か、袋路か通り抜けできるか等により評価) ・公共公益度施設への接続(隣接して公共施設等があるかにより評価) ・国・県道への接続(国・県道に接続しているかにより評価) ・市道の級別(3級以上か4級かにより評価) ・路面状況(路面の砂利の状況等により評価) ・底地の寄付(整備要望にあたり底地の寄付の有無により評価) <p>上記の項目により総合的に評価し、優先順位を決定しています。</p> <p>○道路維持修繕事業(舗装修繕)の評価基準項目は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷度(道路パトロールによる目視で評価) ・利用度(交通量により評価) ・緊急度(幹線市道かにより評価) <p>上記の項目により総合的に評価し、優先順位を決定しています。 (担当課：道路課11月16日回答)</p>	